

Q

圏央インター周辺の開発は問題

A

地域資源の活用を図る

松村 和子 議員

質問一 農業大学校跡地の貴重な緑と湧き水の保存は。県の基本構想策定の状況は。

二 南西部第一期土地区画整理事業費の総額と、税収見込みは。企業誘致条例に基づく奨励金の総額と雇用状況は。

三 水土里の交流圏構想のエリア周辺の都市計画道路の状況は。

答弁一（市長） 緑や水辺などを

適切に保全整備し、市民と一緒に活用していくという認識は、市と県で共通している。県では基本構想の最終報告に向けて調整しているものと確認している。

二 事業費は約65億4000万円で、うち市の負担は約8億円。平成23年度の市税収入は約3億5000万円を見込んでいる。奨励金の総額は、約4億9000万円、

雇用状況は、22年8月末で37社、1185人となっている。

三 県で整備する路線は2路線、市で整備する路線は3路線となるが、すぐに着手する予定とはなっていない。

◎その他の質問

一 一本松土地区画整理と区画整理除外地区の今後の整備計画について

二 税金が高い、特に国民健康保険税は高くて困る引き下げを

運動公園周辺整備について

駐車場を確保し道路整備を進める

大曾根英明 議員

質問一 運動公園第二期工事の予定、今後の見通しは。

二 周辺地域の現在の状況は。

三 イベントや各種スポーツ大会時の駐車場の状況は。

四 運動施設の利用状況は。

五 都市計画道路の進捗と隣接路線の今後の予定は。

答弁一（市長） 運動公園第二期

整備は多額の費用を要するため、着手は難しい。スポーツ施設の暫定的な整備を検討していく。

二 現在の状況は、畑5・7畝、山林2・5畝、公衆用道路等0・8畝である。

仮設駐車場用地を確保するに当



上空からの運動公園周辺

たり聞いた話は、「土地を早く買い取っていただきたい」とのことである。残りの9畝の用地取得に伴う費用は、約12億円は必要である。

三 運動公園の西側に約2000平方メートル、80台分を確保したい。

四 平成22年4月から12月までの利用者総数は、延べ4万3147人であり、年々増加している。

五 川越鶴ヶ島線の圏央鶴ヶ島インターチェンジから日高川越鶴ヶ島線までの区間は、県が整備する予定である。

市道700-1号線は、市道5号線との交差点で渋滞しているのを、今後対策を検討する。